

戦前期の南方地域における建築活動と室内環境調整手法

1. 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究

配付資料 152 ページ以降の下記の論文を参照。なお、論文中には、配付資料としての通しページ番号は打たれていないので注意のこと（合計 18 ページ分、169 ページまで）。また論文 [1] ～ [3] は、もとは B5 判のものを A4 判に拡大。

- [1] 八幡真樹子, 辻原万規彦, 平川真由美: 「南方建築」に用いられた室内環境調整手法- 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その 1 -, 日本建築学会九州支部研究報告, 第 40 号・2 [環境系], pp. 129～132, 2001. 3.
- [2] 岩田紘明, 辻原万規彦, 今村仁美, 柏木史成, 古内佐知, 山本美沙, 岡本孝美: 「ベラウ国立博物館開館 50 周年記念特別展示- パラオの日本建築文化- 」について- その 1 展示の概要と南洋庁本庁庁舎の復元-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第 45 号・3 [計画系], pp. 773～776, 2006. 3.
- [3] 柏木史成, 辻原万規彦, 今村仁美, 岩田紘明, 古内佐知, 山本美沙, 岡本孝美: 「ベラウ国立博物館開館 50 周年記念特別展示- パラオの日本建築文化- 」について- その 2 パラオ熱帯生物研究所の復元-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第 45 号・3 [計画系], pp. 777～780, 2006. 3.
- [4] 辻原万規彦: 南洋群島における日本統治期の建築物の現存状況, 2009 年度日本建築学会 (東北) 建築歴史・意匠部門研究協議会資料 歴史的建築リストの可能性～学会・行政・市民との連携に向けて～ (日本建築学会建築歴史・意匠委員会歴史的建築リスト整備活用小委員会編), 日本建築学会, pp. 81～86, 2009. 8.

2. 参考文献 ([] 内は、熊本県立大学附属図書館所蔵情報)

- [1] 『パラオ共和国-過去と現在そして 21 世紀へ-』(須藤健一監修, 倉田洋二・稲本博編, おりじん書房, 2003 年 4 月, 20,000 円, ISBN: なし) [開架 2, 302.742 | Ku 56, 0000276018] (「パラオに残る日本委任統治時代の建物」(辻原万規彦, pp. 208～223) 所収)
- [2] 『社宅街 企業が育んだ住宅地』(社宅研究会編著, 学芸出版社, 2009 年 5 月, 3,000 円 + 税, ISBN: 978-4-7615-3176-8) [開架 2, 365.33 | Sh 13, 0000324596, 0000324656, 0000324657, 0000324658, 0000324659] (「南洋群島/熱帯気候下の住宅」(辻原万規彦, pp. 217～230) 所収)

ミクロネシアの概要や現況など

- [3] 『ミクロネシアを知るための58章』（印東道子編著，明石書店，2005年11月，2,000円＋税，ISBN：4-7503-2222-9）〔開架2，302.74||I 57，0000300766〕
- [4] 『三省堂選書158 太平洋諸島入門』（太平洋学会編，三省堂，1990年9月，1,456円＋税，ISBN：4-385-43158-2）〔文庫本，080||SA 1||158，0000276648〕
- [5] 『サイパン・グアム 光と影の博物誌』（中島洋，現代書館，2003年4月，2,200円＋税，ISBN：4-7684-6855-1）〔開架2，297.41||N 46，0000277264〕
- [6] 『ミクロネシア信託統治の研究』（矢崎幸生，御茶の水書房，1999年9月，8,000円＋税，ISBN：4-275-01777-3）〔開架2，312.74||Y 67，0000276277〕
- [7] 『政治空間としてのパラオ 島嶼の近代への社会人類学的アプローチ』（遠藤央，世界思想社，2002年10月，3,500円＋税，ISBN：4-7907-0958-2）〔開架2，389.742||E 59，0000276502〕
- [8] 『太平洋島嶼諸国論』（小林泉，東信堂，1994年3月，3,495円＋税，ISBN：4-88713-188-7）〔開架2，302.7||Ko 12，0000285719〕
- [9] 『オセアニア物語』（鹿児島大学南太平洋海域研究センター編，めこん，1989年9月，2,200円＋税，ISBN：不明）〔開架2，297||Ka 19，0000302669〕
- [10] 『世界各国史27 オセアニア史』（山本真鳥編，山川出版社，2000年8月，3,300円＋税，ISBN：4-634-41570-4）〔開架2，208||Se 1||27，0000235505〕
- [11] 『集英社新書0273D 太平洋－開かれた海の歴史』（増田義郎，集英社，2004年12月，700円＋税，ISBN：4-08-720273-9）〔文庫本，080||Sh 99||273，0000293022〕
- [12] 『オセアニア学』（吉岡政徳監修，遠藤央・印東道子・梅崎昌裕・中澤港・窪田幸子・風間計博編，京都大学学術出版会，2009年10月，7,000円＋税，ISBN：978-4-87698-789-4）〔所蔵なし〕

当時のミクロネシアの状況について

- [13] 『海の果ての祖国』（野村進，時事通信社，1987年7月，1,800円＋税，ISBN：4-7887-8721-0）〔3 F和，916||N 95，0000295455〕
- [14] 『日本領サイパン島の一万日』（野村進，岩波書店，2005年8月，2,000円＋税，ISBN：4-00-024238-5）〔3 F和，916||N 95，0000301112〕
- [15] 『中公文庫 Biblio 20世紀 南洋通信』（中島敦，中央公論新社，2001年9月，762円＋税，ISBN：4-12-203900-2）〔文庫本，080||Chu 2||762，0000285879〕
- [16] 『中島敦 父から子への南洋だより』（川村湊編，集英社，2002年11月，3,000円＋税，ISBN：4-08-775315-8）〔3 F和，915.6||N 34，0000286653〕
- [17] 『中島敦論』（渡邊一民，みすず書房，2005年3月，2,800円＋税，ISBN：4-622-07135-5）〔3 F和，910.268||N 46，0000300767〕

- [18] 『大本营に見すてられた楽園 玉砕と原爆の島 テニアン』（石上正夫，桜井書店，2001年8月，2,200円＋税，ISBN：4-921190-11-9）〔開架2，210.75||I 73，0000291586〕
- [19] 『母と子でみる 16 南の島の悲劇 テニアン・サイパンの玉砕』（石上正夫編，草の根出版会，1993年8月，2,200円＋税，ISBN:4-87648-095-8）〔開架2，210.75||I 73，0000292550〕
- [20] 『僕が見た「大日本帝国」 教わらなかった歴史と出会う旅』（西牟田靖，情報センター出版局，2005年2月，1,600円＋税，ISBN：4-7958-4302-3）〔開架2，292.09||N 84，0000295457〕
- [21] 『写真で読む 僕が見た「大日本帝国」』（西牟田靖，情報センター出版局，2006年2月，1,600円＋税，ISBN：4-7958-3123-8）〔開架2，292.09||N 84，0000301113〕
- [22] 『講談社文庫 ベラウの生と死』（澤地久枝，講談社，1997年12月，562円＋税，ISBN：4-06-263671-9）〔文庫本，080||Ko 19，0000319066〕
- [23] 『南洋・樺太の日本文学』（川村湊，筑摩書房，1994年12月，2,427円＋税，ISBN：4-480-82314-X）〔3F和，910.26||Ka 95，0000293908〕
- [24] 『日本近代生物学のパイオニア 畑井新喜司の生涯』（蝦名賢造，西田書店，1995年9月，2,427円＋税，ISBN：4-88866-237-0）〔開架2，289.1||H 41，0000292537〕
- [25] 『旧植民地教育史資料集 I 南洋群島教育史』（南洋群島教育會編，青史社，1982年1月，15,000円＋税，ISBN：なし）〔書庫，372.1||KYU1||1，0000104320〕
- [26] 『沖縄県史研究叢書 10 南洋廳施政十年史(影印本)』（沖縄県文化振興会公文書館管理部史料編集室編，2001年3月，非売品，ISBN：なし）〔書庫，219.9||0 52||10，0000296447〕
- [27] 『「観光のまなざし」の転回 越境する観光学』（遠藤英樹，堀野正人編著，春風社，2004年5月，2,381円＋税，ISBN：4-86110-009-7）〔3F和，689||E 59，0000283277〕
- [28] 『南洋群島と帝国・国際秩序』（浅野豊美編，慈学社，2007年2月，6,000円＋税，ISBN：978-4-903425-15-3）〔開架2，319.107||A 87，0000317820〕
- [29] 『太平洋戦跡紀行 サイパン グァム・テニアン』（西村誠，湯原浩司撮影，光人社，2007年2月，2,200円＋税，ISBN：978-4-7698-1336-1）〔開架2，297||N 84，0000316718〕
- [30] 『太平洋戦跡紀行 ペリリュー アンガウル・トラック』（西村誠，湯原浩司撮影，光人社，2007年7月，2,200円＋税，ISBN：978-4-7698-1355-2）〔開架2，297||N 84，0000316719〕
- [31] 『南洋庁公報』（今泉裕美子監修，辻原万規彦編集，ゆまに書房，2009年5～，400,000円＋税，ISBN：978-4-8433-3171-2 C3321）〔開架2，317.8||N 48||1，0000327761〕，〔開架2，317.8||N 48||2，0000327762〕，〔開架2，317.8||N 48||3，0000327763〕，〔開架2，317.8||N 48||4，0000327764〕，〔開架2，317.8||N 48||5，0000327765〕，〔開架2，317.8||N 48||6，0000327766〕，〔開架2，317.8||N 48||7，0000327767〕，〔開架2，317.8||N 48||8，0000327768〕

旧南洋群島関連の文献

- [32] 『日本統治下ミクロネシア文献目録』（山口洋児編著，風響社，2000年9月，8,000円＋税，ISBN：4-938718-98-7）〔開架2，274.031||Y 24，0000251836〕

植民地もしくは同時代の建築活動

- [33] 『日本植民地建築論』（西澤泰彦，名古屋大学出版会，2008年2月，6,600円＋税，ISBN：978-4-8158-0580-7）〔開架2，523.2||N 87，0000314737〕
- [34] 『河出ブックス 006 日本の植民地建築 帝国に築かれたネットワーク』（西澤泰彦，河出書房新社，2009年10月，1,200円＋税，ISBN：978-4-309-62406-8）〔所蔵なし〕
- [35] 『海を渡った日本人建築家 20世紀前半の中国東北地方における建築活動』（西澤泰彦，彰国社，1996年12月，2,800円＋税，ISBN：4-395-00444-X）〔開架2，523.225||N 87，0000193493，0000218322〕
- [36] 『10+1 別冊 20世紀建築研究』（20世紀建築研究編集委員会編，INAX出版，1998年10月（第2版：1999年2月），3,200円＋税，ISBN：4-87275-084-5）〔開架2，523.06||N 73，0000275335〕
- [37] 『Contemporary Human Documents 悲喜劇 一九三〇年代の建築と文化』（同時代建築研究会編，現代企画室，1981年12月，3,000円＋税，ISBN：なし）〔開架2，523.1||D 81，0000276560〕
- [38] 『朝日選書 530 戦時下日本の建築家 アート・キッチュ・ジャパネスク』（井上章一，朝日新聞社，1995年7月，1,553円＋税，ISBN：4-02-259630-9）〔所蔵なし〕
- [39] 『植民地神社と帝国日本』（青井哲人，吉川弘文館，2005年2月，9,500円＋税，ISBN：4-642-03768-3）〔開架2，518.8||A 52，0000301584〕
- [40] 『大日本帝国の領事館建築 中国・満州24の領事館と建築家』（田中重光，相模書房，2007年10月，3,000円＋税，ISBN：978-47824-0706-6）〔開架2，523.22||Ta 84，0000319654〕
- [41] 『近代日本の植民地博覧会』（山路勝彦，風響社，2008年1月，3,000円＋税，ISBN：978-4-89489-125-8）〔3 F 和，606.9||Y 26，0000317642〕

南方を中心とした植民地に関連して

- [42] 『岩波講座 近代日本と植民地 1 植民地帝国日本』（大江志乃夫他編，岩波書店，1992年11月，3,800円＋税，ISBN：4-00-010481-0）〔書庫，210.6||I4||1，0000011982〕〔書庫，210.6||I4||1A，0000065043〕
- [43] 『岩波講座 近代日本と植民地 2 帝国統治の構造』（大江志乃夫他編，岩波書店，1992年12月，3,800円＋税，ISBN：4-00-010482-9）〔書庫，210.6||I4||2，0000011983〕〔書庫，210.6||I4||2A，0000065010〕
- [44] 『岩波講座 近代日本と植民地 3 植民地化と産業化』（大江志乃夫他編，岩波書店，1993年2月，3,800円＋税，ISBN：4-00-010483-7）〔書庫，210.6||I4||3A，0000011984〕

- [書庫, 210.6||I4||3, 0000065015]
- [45] 『岩波講座 近代日本と植民地 4 統合と支配の論理』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1993年3月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010484-5) [書庫, 210.6||I4||4A, 0000011985]
[書庫, 210.6||I4||4, 0000065016]
- [46] 『岩波講座 近代日本と植民地 5 膨張する帝国の人流』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1993年4月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010485-3) [書庫, 210.6||I4||5, 0000011986]
[書庫, 210.6||I4||5A, 0000043509]
- [47] 『岩波講座 近代日本と植民地 6 抵抗と服従』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1993年5月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010486-1) [書庫, 210.6||I4||6, 0000011987] [書庫, 210.6||I4||6A, 0000043508]
- [48] 『岩波講座 近代日本と植民地 7 文化の中の植民地』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1993年1月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010487-X) [書庫, 210.6||I4||7A, 0000011988]
[書庫, 210.6||I4||7, 0000065017]
- [49] 『岩波講座 近代日本と植民地 8 アジアの冷戦と脱植民地化』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1993年6月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010488-8) [書庫, 210.6||I4||8, 0000011989]
[書庫, 210.6||I4||8A, 0000125450]
- [50] 『沖縄県史ビジュアル版9 近代② 旧南洋群島と沖縄県人- テニアン- 』(沖縄県文化振興会公文書管理部史料編集室編, 沖縄県教育委員会, 2002年2月, 500円(税込), ISBN:なし) [開架2, 291.99||0 52||9, 0000300284]
- [51] 『20世紀の日本4 植民地 帝国50年の興亡』(マーク・ピーティ著, 浅野豊美訳, 読売新聞社, 1996年12月, 1,942円+税, ISBN:4-643-96028-0) [所蔵なし]
- [52] 『新潮選書 日本植民地探訪』(大江志乃夫, 新潮社, 1998年7月, 1,700円+税, ISBN:4-10-600541-7) [文庫本, 080||43||541, 0000204053]
- [53] 『帝国という幻想 「大東亜共栄圏」の思想と現実』(ピーター・ドウス, 小林英夫編, 青木書店, 1998年8月, 3,800円+税, ISBN:4-250-98005-7) [開架2, 210.6||D 99, 0000276436]
- [54] 『写真図説 日本の侵略』(アジアに対する日本の戦争責任を問う民衆法廷準備会編著, 大月書店, 1992年12月, 4,660円+税, ISBN:4-272-52024-5) [開架2, 210.6||A 27, 0000279146]
- [55] 『生活の中の植民地主義』(水野直樹編, 人文書院, 2004年1月, 1,500円+税, ISBN:4-409-52051-2) [開架2, 317.8||Mi 96, 0000294130]
- [56] 『歴史文化ライブラリー174 帝国日本と植民地都市』(橋谷弘, 吉川弘文館, 2004年3月, 1,700円+税, ISBN:4-642-05574-6) [文庫本, 080||R 25||174, 0000279864]
- [57] 『近代日本と東南アジア 南進の「衝撃」と「遺産」』(後藤乾一, 岩波書店, 1995年1月,

- 3,500円＋税, ISBN: 4-00-002744-1) [開架2, 210.6||G 72, 0000191086]
- [58] 『展望日本歴史 20 帝国主義と植民地』(柳沢遊・岡部牧夫編, 東京堂出版, 2001年2月, 5,500円＋税, ISBN: 4-490-30570-2) [開架2, 210.08||Te 35||20, 0000287378]
- [59] 『日本植民地経済史研究』(山本有造, 名古屋大学出版会, 1992年2月, 6,000円＋税, ISBN: 4-8158-0174-6) [開架2, 332.106||Y31, 0000140365]
- [60] 『帝国の研究－原理・類型・関係－』(山本有造編, 名古屋大学出版会, 2003年11月, 5,500円＋税, ISBN: 4-8158-0473-7) [開架2, 313.1||Y 31, 0000294141]
- [61] 『知の攻略 思想読本4 ポストコロニアリズム』(姜尚中編, 作品社, 2001年11月, 2,000円＋税, ISBN: 4-87893-438-7) [書庫, 304||Ka 43, 0000259430]
- [62] 『講談社選書メチエ351 帝国論』(山下範久編, 講談社, 2006年1月, 1,600円＋税, ISBN: 4-06-258351-8) [開架2, 319.04||Y 44, 0000300768]
- [63] 『岩波新書 928 ポストコロニアリズム』(本橋哲也, 岩波書店, 2005年1月, 740円＋税, ISBN: 4-00-430928-X) [文庫本, 080||I 1-2||928, 0000286931]
- [64] 『1冊でわかる ポストコロニアリズム』(ロバート・J・C・ヤング著, 本橋哲也訳, 岩波書店, 2005年3月, 1,500円＋税, ISBN: 4-00-026878-3) [開架2, 334.5||Y 95, 0000294175]
- [65] 『塙選書 104 国境の植民地・樺太』(三木理史, 塙書房, 2006年5月, 1,800円＋税, ISBN: 4-8273-3104-9) [開架2, 229.23||Mi 24, 0000317656]
- [66] 『近代日本と小笠原諸島 移動民の島々と帝国』(石原俊, 平凡社, 2007年9月, 5,000円＋税, ISBN: 978-4-582-42802-5) [開架2, 213.6||I 74, 0000316820]
- [67] 『日本の植民地図書館 アジアにおける日本近代図書館史』(加藤一夫・河田いこひ・東條文規, 社会評論社, 2005年5月, 4,200円＋税, ISBN: 4-7845-0559-8) [開架2, 010.22||Ka 86, 0000319244]
- [68] 『植民地時代の古本屋たち 樺太・朝鮮・台湾・満州・中華民国-空白の庶民史』(沖田信悦, 寿郎社, 2007年12月, 2,000円＋税, ISBN: 978-4-902269-23-9) [開架2, 024.8||0 52, 0000319525]

(準) 国策会社について

- [69] 『国策会社・東拓の研究』(河合和男・金早雪・羽島敬彦・松永達, 不二出版, 2000年1月, 7,800円＋税, ISBN: 4-938303-97-3) [開架2, 335.49||Ka 93, 0000278019]
- [70] 『東洋拓殖会社 日本帝国主義とアジア太平洋』(黒瀬郁二, 日本経済評論社, 2003年3月, 3,800円＋税, ISBN: 4-8188-1501-2) [開架2, 335.49||Ku 77, 0000294154]
- [71] 『植民地企業経営史論 「準国策会社」の実証的研究』(久保文克, 日本経済評論社, 1997年2月, 7,500円＋税, ISBN: 4-8188-0912-8) [開架2, 335.49||KU 11, 0000189465]
- [72] 『台湾拓殖会社とその時代』(三日月直之, 葦書房, 1993年8月, 5,680円＋税, ISBN:

4-7512-0495-5)〔開架2, 335.49||Mi 21, 0000262484〕

[73]『講談社選書メチエ 374 満鉄全史 「国策会社」の全貌』（加藤聖文, 講談社, 2006年11月, 1,600円+税, ISBN:4-06-258374-7)〔開架2, 335.49||Ka 86, 0000319524〕

[74]『満鉄と東インド会社, その産声 海外進出の経営パラダイム』（三浦康之, ウェッジ, 1997年7月, 2,718円+税, ISBN:4-900594-23-7)〔開架2, 335.49||Mi 67, 0000319243〕

戦争遺跡について

[75]『しらべる戦争遺跡の事典』（十菱駿馬・菊池実編, 柏書房, 2002年6月, 3,800円+税, ISBN:4-7601-2216-8)〔開架2, 210.6||J 87, 0000266772〕

[76]『続 しらべる戦争遺跡の事典』（十菱駿馬・菊池実編, 柏書房, 2003年6月, 3,800円+税, ISBN:4-7601-2390-3)〔開架2, 210.6||J 87||2, 0000285699〕

[77]『近代日本の戦争遺跡 戦跡考古学の調査と研究』（菊池実, 青木書店, 2005年8月, 4,300円+税, ISBN:4-250-20522-3)〔開架2, 210.6||Ki 24, 0000319245〕

[78]『戦跡を歩く』（牧野弘道, ホーム社, 2002年7月, 1,700円+税, ISBN:4-8342-5072-5)〔開架2, 210.75||Ma 35, 0000275584〕

[79]『戦争遺跡を歩く』（太平洋戦争研究会編著, ビジネス社, 2006年6月, 1,400円+税, ISBN:4-8284-1278-6)〔開架2, 210.6||Ta 22, 0000319406〕

[80]『岩波ジュニア新書 454 日本の戦跡を見る』（安島太佳由, 岩波書店, 2003年12月, 780円+税, ISBN:4-00-500454-7)〔文庫本, 080||I 5||454, 0000293269〕

[81]『平凡社新書 240 保存版ガイド 日本の戦争遺跡』（戦争遺跡保存全国ネットワーク編著, 平凡社, 2004年9月, 1,200円+税, ISBN:4-582-85240-8)〔文庫本, 080||I 5||454, 0000293269〕

[82]『戦争遺跡が語る太平洋戦争』（太平洋戦争研究会編, 日本文芸社, 2006年4月, 838円+税, ISBN:4-537-25334-7)〔文庫本, 080||P 21||031, 0000319526〕

[83]『アジアでどんな戦争があったのか 戦跡をたどる旅』（別府三奈子, 杜多洋一写真, めこん, 2006年8月, 2,500円+税, ISBN:4-8396-0199-2)〔開架2, 220||B 37, 0000319655〕

[84]『戦争廃墟 昨日の事は昨日の眼で見よ』（石本馨, ミリオン出版, 2006年9月, 1,900円+税, ISBN:4-8130-2047-X)〔開架2, 210.6||I 78, 0000320023〕

ミクロネシアを対象とした旅行記, 滞在記やガイドブックなど

[85]『ワールドカルチャーガイド 13 ミクロネシア 「小さな島々」の素顔に出会う』（WCG編集室, トラベルジャーナル, 1999年11月, 1,900円+税, ISBN:4-89559-473-4)〔開架2, 297||W 49, 0000286000〕

[86]『観光コースでない グアム・サイパン』（大野俊, 高文研, 2001年7月, 1,700円+税, ISBN:4-87498-260-3)〔開架2, 274||O 67, 0000286001〕

[87]『新訂版 楽園マニュアル 好きになっちゃったミクロネシア』（下川裕治+ゼネラルブ

- レス編著，双葉社，2000年1月，1,500円＋税，ISBN：4-575-28848-9）〔所蔵なし〕
- [88] 『太平洋諸島ガイド 南の島の昔と今』（牟田清，古今書院，1991年10月，2,233円＋税，ISBN：4-7722-1820-3）〔開架2，297||Mu 91，0000285998〕
- [89] 『南の島に暮らす日本人たち』（井形慶子，ミスター・パートナー，1997年10月，1,200円＋税，ISBN：4-7952-8017-7）〔開架2，297.4||I 22，0000285997〕
→ 『ちくま文庫 い-39-2 南の島に暮らす日本人たち』（井形慶子，筑摩書房，2000年7月，600円＋税，ISBN：4-480-03572-9）〔文庫本，080||Chi 5||3572，0000294529〕
- [90] 『旅してみれば パラオ 海／観光編』（上原伸一，あみのさん，2004年1月，1,000円＋税，ISBN：4-900585-02-5）〔開架2，297.4||U 36，0000286967〕
- [91] 『天下太平洋物語』（おがわかずよし，旅行人，1997年6月，1,600円＋税，ISBN：4-947702-09-5）〔開架2，297||O 24，0000286002〕
- [92] 『やっぱり住みたい南の島』（いしいきよこ，ミスター・パートナー，2004年2月，1,400円＋税，ISBN：4-434-04099-5）〔開架2，334.47||I 75，0000294146〕
- [93] 『ミクロネシアで暮らす～協力隊が作った初めてのテレビニュース～』（八坂由美，明石書店，2000年10月，2,500円＋税，ISBN：4-7503-1338-6）〔開架2，297.43||Y 61，0000294137〕
- [94] 『鷺の眼が翔る ミクロネシア紀行』（活田刺門，文芸社，2001年12月，1,200円＋税，ISBN：4-8355-2982-0）〔開架2，297.4||I 32，0000295652〕
- [95] 『竜宮に近い島で ヤップ・パラオ旅日記』（活田芝門，講談社出版サービスセンター，2004年1月，1,400円＋税，ISBN：4-87601-670-4）〔開架2，297.43||I 32，0000301878〕
- [96] 『女ひとり玉砕の島を行く』（笹幸恵，文藝春秋，2007年5月，1,667円＋税，ISBN：978-4-16-369110-7）〔開架2，297.09||Sa 71，0000319330〕
- [97] 『ヤップ放送局に乾杯 ゆるゆる南島日記』（渡辺考，石風社，2007年8月，1,500円＋税，ISBN：978-4-88344-148-8）〔開架2，297.43||W 46，0000319120〕
- [98] 『パラオにて』（里見二郎，新風舎，2006年1月，1,000円＋税，ISBN：4-7974-4766-4）〔所蔵なし〕
- [99] 『九十一歳の春 母のパラオとアルツハイマー』（三田信夫，文芸社，2006年1月，1,400円＋税，ISBN：4-286-00751-0）〔所蔵なし〕
- [100] 『パラオからの手紙』（スミス妙美，文芸社，2007年11月，1,100円＋税，ISBN：978-4-286-04176-6）〔3 F 和，913.6||Su 64，0000312990〕

歴史的建造物の保存について

- [101] 『新建築学大系 50 歴史的建造物の保存』（新建築学大系編集委員会編，彰国社，1999年4月，7,000円＋税，ISBN：4-395-15050-0）〔開架2 520.8||Ke 1||50 0000212692〕
- [102] 『歴史ある建物の活かし方 全国 119 の活用事例ガイド』（清水真一，蓑田ひろ子，三船康道，大和智編，学芸出版社，1999年7月，3,500円＋税，ISBN：4-7615-3079-0）〔開架

- 2, 521.8||Sh 49, 0000222543, 0000251731]
- [103] 『歴史的遺産の保存・活用とまちづくり』（大河直躬編，学芸出版社，1997年6月，3,500円＋税，ISBN：4-7615-3063-4）〔開架2, 521.86||0 46, 0000229125〕
→改訂版あり（2006年3月，ISBN：4-7615-3139-8）〔開架2, 521.86||0 46, 0000305322〕
- [104] 『現代の建築保存論』（鈴木博之，王国社，2001年12月，1,800円＋税，ISBN：4-900456-94-2）〔開架2, 521.6||Su 96, 0000270358〕
- [105] 『修復 まちの歴史ある建物を活かす技術』（木村勉，金出ミチル，理工学社，2001年9月，2,500円＋税，ISBN：4-8445-3030-5）〔開架2, 523.1||Ki 47, 0000254578〕
- [106] 『建築の保存デザイン 豊かに使い続けるための理念と実践』（田原幸夫，学芸出版社，2003年6月，2,500円＋税，ISBN：4-7615-2316-6）〔開架2, 520||Ta 19, 0000320024〕
- [107] 『建築ライブラリー18 復元思想の社会史』（鈴木博之編，建築資料研究社，2006年6月，2,500円＋税，ISBN：4-87460-911-2）〔開架2, 521||Su 96, 0000320025〕
- [108] 『日仏都市会議2003 都市の21世紀 「文化をつむぎ，文化をつくる」2 近代建築遺産の継承』（三宅理一・アンドレ・シガノス・澤井安男編，鹿島出版会，2004年12月，2,500円＋税，ISBN：4-306-0447-5）〔開架2, 523.1||Mi 76, 0000288483〕

産業遺産について

- [108] 『日本の産業遺産 I 産業考古学研究』（前田清志・玉川寛治編，玉川大学出版部，2000年11月，8,500円＋税，ISBN：4-472-40243-2）〔所蔵なし〕
- [109] 『日本の産業遺産 II 産業考古学研究』（前田清志・玉川寛治編，玉川大学出版部，2000年11月，8,500円＋税，ISBN：4-472-40244-0）〔所蔵なし〕
- [110] 『産業遺産とまちづくり』（矢作弘，末松誠写真，学芸出版社，2004年8月，1,800円＋税，ISBN：4-7615-1192-3）〔3 F 和, 602.1||Y 16, 0000314542〕
- [111] 『初心者のための産業考古学入門 産業遺産を歩こう』（平井東幸・種田明・堤一郎編，東洋経済新報社，2009年4月，2,000円＋税，ISBN：978-4-492-04331-8）〔所蔵なし〕

3. 参考 URL

- [1] 辻原の研究室のホームページ
<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/>
- [2] 立教大学兼任講師の千住一先生のホームページ
<http://www5b.biglobe.ne.jp/~senjucl/>
- [3] 太平洋諸島地域研究センターのホームページ
<http://www.jaipas.or.jp/>
- [4] やしの実大学のホームページ

<http://www.yashinomi.to/main.html>

- [5] 「〈近代日本の南方関与〉に関する戦後日本刊行文献目録（稿）」（京都大学人文科学研究所のホームページより）

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/db/nanpou/index.html>

- [6] 「矢内原忠雄南洋群島関係資料展」（琉球大学附属図書館のホームページより）

<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/riyou/tenji/yanai/h7300.html>

- [7] 矢内原忠雄文庫植民地関係資料データベース（琉球大学附属図書館のホームページより）

<http://manwe.lib.u-ryukyu.ac.jp/yanaihara/>

- [8] University of Guam Micronesia Area Research Center のホームページ

<http://www.uog.edu/dynamicdata/MicroAreaResearchCenter.aspx?siteid=1&p=52>

- [9] Micronesia Seminar のホームページ

<http://www.micsem.org/home.htm>

- [10] マリアナ政府観光局のホームページ

<http://japan.mymarianas.com/index.html>

- [11] Division of Historic Preservation Office of the Commonwealth of the Northern Mariana Islands のホームページ

<http://www.cnmihpo.com/index.html>

- [12] College of Micronesia -FSM のホームページ

<http://www.comfsm.fm/>

- [13] Federated States of Micronesia 政府のホームページ

<http://www.visit-fsm.org/index.html>

- [14] パラオ共和国政府観光局のホームページ

<http://www.palau.or.jp/>

- [15] University of Hawai'i at Manoa Library のホームページ

<http://library.manoa.hawaii.edu/index.html>

- [16] Bishop Museum のホームページ

<http://www.bishopmuseum.org/index.html>